

# 議会だより

ひだか

第153号

平成30年4月25日

比井小学校 11名の旅立ち

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626  
【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

町長選を控え、骨格予算	新年度予算	2～3
比井避難道路・町道改良の予算削減	補正予算	4
待機児童への対応は	一般質問	5～8
保育所民間委託の調査	委員会レポート	9～10

# 町長選を控え、骨格予算

## 平成30年度

一般会計	39億7,849万円
特別会計	23億4,860万円
予算総額	63億2,709万円

### 水道事業会計

収益的収入	2億3,866万円
収益的支出	2億6,105万円
資本的収入	2,937万円
資本的支出	9,082万円



転入者増加が税の増収につながっている

3月定例会は3月9日から8日間の会期で開催した。平成30年度一般会計、特別会計、水道事業会計など議案17件、また平成29年度一般会計、特別会計補正予算など議案6件について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決し、16日に閉会した。

### 一般会計

**町民税増収**  
町民税増収を見込んだ要因は、**税務課長** 個人住民税は、給与所得者の転入増加等により、均等割を100人増で計上した。また、実績として調定額が伸びていることも、要因である。  
**税務課長** 法人住民税も前年の調定額が増えたことが要因

**ふるさと納税**  
ふるさと納税返礼品費が、昨年度に比べて60万円減額となっていることの説明を。  
**総務政策課長** 昨年度はふるさと納税を初めて楽天に委託し、1万円の寄付500件分で計上した。今年度は300件分である。  
**総務政策課長** 全国鍋グランプリで一位をとったクエ鍋セットや、返礼品を増やすなどすれば、減額しなくても良いのでは。  
**総務政策課長** クエ鍋セットを扱ってくれる業者が必要となる。今後、検討していきたい。

**新地方公会計制度**  
**総務政策課長** 新地方公会計制度支援委託料361万8千円の説明を。  
**総務政策課長** 新地方公会計制度については、平成28年度で準備を行った29年度で、28年度の決算に基づいたものを作成している。30年度以降も同様に実施していく。  
**総務政策課長** 決算に基づく書類を作成するために、毎年こ



「ニッポン全国鍋グランプリ2018」で優勝

れだけの費用が必要というところが、役場の事務処理の中でできないのか。  
**総務政策課長** 専門的なこともあり難しい。金額の圧縮については、検討していく。

**地方創生**  
 問 シティプロモーション・海外観光客誘致事業補助金1300万円の説明を。

**産業建設課長** クエの町日高シティプロモーション事業では、名古屋市内で開催される全国県人会まつりに300万円。関東での鍋文化に合った出汁の開発、東京近郊でクエ鍋ふるまい調査に400万円。東京のテレビ番組でのクエ鍋発信に50万円。全国のクエ普及に関する研究調査50万円を計画している。

海外観光客誘致事業では、ベトナム、ハノイ市で観光プロモーションを実施するのに400万円。ベトナムの旅行会社と旅行商品づくりに40万円。ホーチミン市内に日高町の情報発信基地を設置するのに60万円である。  
 問 シティプロモーション、海外観光客誘致事業関係旅費の説明を。  
**産業建設課長** 職員の旅費は補助対象外なので、ベトナムへの6人分と名古屋への4人分、合計148万6千円である。

問 観光客誘致ということだが、目標値は。  
**産業建設課長** 日高町戦略本部会議の中で、クエの町日高全国PRによる県外観光客数が年間3万2千人。海外観光客数が3年で150人である。



十分な保育ができるか

**保育所**  
 問 保育士の人数が減る予算となっているが、十分な保育ができるのか。  
**住民福祉課長** ぎりぎり、今までどおりの保育ができると考えている。

**学童保育**  
 問 学童保育の委託料が増額となっている説明を。  
**教育課長** 指導員は平成29年度と同じ体制を考えているが、人数の多い夏休みなどに指導員の増員ができるように委託料を増額した。  
**計画策定**  
 問 地域福祉計画策定委員が10名、子ども・子育て

て支援計画策定委員が11名ということである。いずれもこれまで公募されたことがないが、公募すべきではないか。  
**住民福祉課長** 今後検討していきたい。

**温泉館みちしの湯**  
 問 温泉館地域振興業務委託料が、前年度より増額となっている説明を。  
**産業建設課長** 温泉館の管理者を2名による交代制とするための費用として、要請があった。  
 問 温泉館の食堂運営補助金が減額となっていることの説明を。  
**産業建設課長** これまでは、館の使用料、光熱費警備の負担金、赤字の場合の補助等、約300万円を出していた。今年度は、館の使用料70万9千円の範囲内で補助をする。

**橋梁長寿命化**  
 問 橋梁長寿命化工事が平成30年度にかかった説明を。  
**産業建設課長** 平成27年度に159橋を調査した

結果、緊急に対処する必要がある橋が5橋であった。うち1橋は熊野古道の車両が通行できないところにあることから、通行止めにした。原谷、荊木、小坂の3橋は、29年度で改修済みである。柏の名草橋を30年度に改修する。  
 問 名草橋の改修で橋梁長寿命化工事は終わるといふことが。  
**産業建設課長** 平成27年度の調査で異常のあった橋の改修は全て終わるが、橋梁の点検を5年に一度実施し、その都度、必要な改修をしていく。



改修予定の名草橋（柏）

# 国保特別会計

予算額

8億7531万3千円  
(前年度比23・9%減)

問 国保税について、29年度は値上げもあり、和歌山県内で3番目に高い税率ということになっていた。

今回は、税込で6841万5千円の減額予算となっているが、30年度の保険税率の見込みは、

税務課長 被保険者一人当たり、2万7593円、率にして25・49%の減、1世帯当たりでは5万4635円、率にして28・21%の減額を見込んでいます。



# 条例改正

日高町介護保険条例の一部を改正

介護保険料基準月額(第5段階)を5420円から6600円に引き上げるもの。

問 2割を超える保険料の値上げとなっている。

値上げ幅が大き過ぎると思うが、町長の考え方は、

町長 介護保険事業計画策定委員会で検討された結果である。特別養護老人ホーム入所者の増加

など、介護給付費の増加とこのこともある。

第6期のときは管内で、日高町が一番低かったが、いろいろなか況が出てきている中で、値上げせざるをえない。

## 介護保険料改正

所得段階	改正前の保険料	改正後の保険料
第1段階	2,439円	2,970円
第2段階	4,065円	4,950円
第3段階	4,065円	4,950円
第4段階	4,878円	5,940円
第5段階	5,420円	6,600円
第6段階	6,504円	7,920円
第7段階	7,046円	8,580円
第8段階	8,130円	9,900円
第9段階	9,214円	11,220円

# 平成29年度一般会計補正予算

補正額は2億3971万5千円の減額、補正後は41億9394万円とする。

— 主な内容 —

国保日高総合病院負担金で2747万8千円の増額や、漁港施設整備事業1億9326万2千円、町道改良事業費7852万5千円の減額等。

問 漁港施設整備事業費 1億9300万円の減額の説明を。

産業建設課長 国からの交付金がかかったために減額したものを。

問 比井地区の避難道路及び、町道高家中央線の当初予定と実際の施工延長の説明を。

産業建設課長 比井地区の避難道路は、当初予定440mが250mとなり、その内の50mが平成30年度に繰り越す。町道高家中央線は、当初予定130mが106mとなった。

問 保育所広域入所負担金251万7千円の増額の説明を。

問 住宅耐震補助金が減額になった説明を。

産業建設課長 住宅耐震改修補助金は、11戸の見込みが9戸。住宅耐震補強設計補助金は、11戸の見込みが8戸。耐震ベッド、耐震シエルトは0であった。

住民福祉課長 当初は21名を予定していたが、転入前の施設に通り続ける幼児が多かったため、11名増の32名となった。



予算が削減された町道高家中央線

榮 茂美 議員



# 待機児童への対応は 教育長 通年の居場所づくりを考えたい



待機児童が出た第1学童保育所

**榮** 働く保護者にとって土曜日の1日保育の実施は、切実な要望である。更に、日曜・祝日の臨時保育も希望されている。背景には、今の社会、共働き夫婦が多い中、身近に気軽に子どもを預けられる祖父母がいない。

**町長** こうした方々に、どう支援しようと考えているのか。  
**町長** 平成30年度の保育士の確保状況は、29年度と同人数を確保できず、精一杯である。この問題を解決するた

めには、民間委託による保育士の安定確保しかないと考え、昨年、保育所運営を民間委託したいと表明し、この実現に向けて取り組んでいる。

**榮** 保育所、学童保育所への入所希望者は、全員受け入れられる環境整備を進めるべきではないのか。

**町長** 保育所の環境整備では、志賀保育所の増築整備を進めていて、受入態勢の充実を図っているところである。

**教育長** 平成30年度の学童保育所への申請児童数は、第1学童保育所で、定員約60名に対し90名の申込みで、28名を待機とした。  
**第2学童保育所**は、定員約40名に対し50名の申込みがあった

が、全ての方々が同じ日にならないと考え、できるだけ大勢の保育ができるよう工夫をする。

**榮** 待機児童が多く出た原因は、何だと考えるか。

**教育長** 保護者の方々の就労との関係の中で、子ども達を預けたいと希望される方々が予想よりも多かった。

**榮** 今後どう対応するのか。

**教育長** 夏休み期間中に実施している「子どもの居場所づくり事業」の通年実施や、中央公民館等で地域住民の協力を得て、読書・学習の場の提供やスポーツ、体験教室などを実施する「放課後子ども教室」に取り組みればと考えている。

**榮** 子育て支援に対する町長の思いもあると思うが、今の日高町の現状をしっかりと分析し、先々手を打っていきけるよう、強い決意でやってもらいたい。

## テニスコートの早期整備を

**榮** テニスコート改善に関する要望書が、1517名の署名とともに町長に届けられて、早1年以上経つが、どう考えているのか。

**町長** テニスコート整備の要望書については、十分理解しているが財政面の問題がある。

**榮** トップが決めたら、できるはずである。数千円単位の整備が、和歌山県下30市町村の中で、どうして日高町だけできないのか理解できない。

整備には助成金を十分活用し、町全体の予算を見直せばできると思うが、**町長** 要望は十分わかっているのだから、考えていき

他の一般質問  
健康ポイント事業の実施を

# 小中学生にも防災教育を

芝 充彦 議員

教育長 安全な行動をいかにしようか協議しよう

芝 町は岩出市、上富田町について人口増加率が3位である。要因は福祉の向上、子育て支援の充実、そして何よりも安全安心の町との認識であるからだと思うが、防災の視点からみると、ここに落とし穴があるのではないかと思うのである。

先日、滋賀県大津市で開催された「防災と議員の役割」をテーマにした議員研修を受講して、一番印象に残ったのが、「正常化の偏見」と言う言葉である。自分は大丈夫、ここは大丈夫だという事が、いざと云う時に行動を遅らせ



いつ起こるか分からないのが災害である

町長 防災、災害対策については、住民の生命・財産を守る事が、行政の最優先課題であり、いつ発生するか分からない自然災害により、一人の犠牲者も出さないとこの事を目標に取り組んでいる所である。

芝 住民の防災意識については、どのように評価しているか。  
町長 個々については、もう少し防災意識を高めて頂きたい。



各地域でなる自主防災組織を通じて、災害が起こる事を想定して今後、訓練・勉強会を重ね、常に防災意識を向上する事が大事である。

芝 町長には、自然災害により、一人の犠牲者も出さないという事を目標に、しっかりと住民にアピールして頂きたい。

芝 小中学生にも、より一層の防災意識を身につけるための教育を、月1回程度行っているかどうか。  
教育長 現在、学校では震災による避難訓練や地震津波の避難訓練を学期に1回実施している。

他に災害時の正しい行動、安全な集団行動、月ごとに重点目標を決めて安全意識の向上に努めている現状であり、月1回の防災意識を身につける教育となると時間的に難しい。

芝 児童・生徒または先生方の防災に対する意識の程は。  
教育長 子供達も真剣な

取り組みをしてほしいとの願いの中で、段々と芽生えてきている。教職員は研修の部分で取り組んでいる。

芝 いつ起こるか分からないのが災害である。  
児童・生徒に平日頃から災害意識を付ける為に、昼休み時に災害、津波映像を見せたりと防災期間を設けてみては。

教育長 避難においては、様々な中で自分の命を守る事を大事にしなが、全員の生命の安全を考えた行動がとれるように学校とも協議していきたい。

芝 是非「正常化の偏見」にならない様、児童・生徒に災害の怖さの意識付けをしてほしい。  
教育長 学校として、児童・生徒への意識付けは大変重要であると考えている。

他の一般質問  
小学校の登下校の通学路について

辻村 昌宏 議員



# クエマラソンの復活を 町長 出来ればフルマラソンを



以前のクエマラソン

**辻村** 去る1月、埼玉県和光市で開催された「ニッポン全国鍋グランプリ2018」において、日高町のクエ鍋が、見事、日本一となり、全国に和歌山県日高町をPRできたことは大変良いことだと思いが、今後、この流れをどのようにつなげようと考えているのか。

以前、クエフェアの環境で実施していたクエマラソンを復活させ、全国から出場者を募ってはと

取り組んでいきたいと思

っている。

クエマラソンは、平成6年度から平成18年度にわたり、クエのまちづくり事業の中で、実施されていた。コースは20kmで、近隣の方だけでなく、遠方からも多くのランナーに参加してもらった。

今後、関係団体で協議していただければと

提案したが、町長が「やめとけ」ということでは、事は進んでい

かない。その点どうか

**町長** 今回のグランプリ日本一の下、再度、復活するのも良い提案ではないかと思う。いろんな問題もあるが、開催できればいいと考えている。

できれば、フルマラソンを開催できたらと思

っている。

**辻村** マラソンを実施すれば、クエフェアへ参加される方とは別の方も来てくれると思うが。

**町長** 私もフルマラソンを走ったことが1度あるが、多くの皆さんが来て、活気がある。町おこしの一つになるのではと思

っている。

よ

うに対応、また、事業導入しようと考えているのか。

**町長** 堤体急斜面での草刈り作業は危険が伴うことから、事故防止のためにも堤体斜面に小段を設ける方法が最善であると考えている。

また、県の補助事業でも施工可能である。

**辻村** 今後、どのように進めていこうと考えているのか

**町長** 区長会などで周知していく。

**辻村** 県の補助事業とは具体的に

**町長** 住民参加型の直営施工事業で、受益者の方にステップの設置作業をしてもらう。設置が容易であり、安全に作業してもら



ステップを利用した草刈り作業

## ため池の安全な草刈り

**辻村** 昨年3月議会において「ため池の維持管理について」と題し、堤体の草刈りについて質問したが、その後、町としてどのように検証し、どの

よう

に対応、また、事業導入しようと考えているのか。

**町長** 堤体急斜面での草刈り作業は危険が伴うことから、事故防止のためにも堤体斜面に小段を設ける方法が最善であると考えている。

また、県の補助事業でも施工可能である。

**辻村** 今後、どのように進めていこうと考えているのか

**町長** 区長会などで周知していく。

**辻村** 県の補助事業とは具体的に

**町長** 住民参加型の直営施工事業で、受益者の方にステップの設置作業をしてもらう。設置が容易であり、安全に作業してもら

よう

に対応、また、事業導入しようと考えているのか。

**町長** 堤体急斜面での草刈り作業は危険が伴うことから、事故防止のためにも堤体斜面に小段を設ける方法が最善であると考えている。

また、県の補助事業でも施工可能である。

**辻村** 今後、どのように進めていこうと考えているのか

**町長** 区長会などで周知していく。

**辻村** 県の補助事業とは具体的に

**町長** 住民参加型の直営施工事業で、受益者の方にステップの設置作業をしてもらう。設置が容易であり、安全に作業してもら



西岡 佳奈子 議員

# 就学援助・入学準備金支給を3月までに 教育長 取り組んでいきたい



安心して入学できるための援助を

**西岡** 文科省の調査によると、就学援助・入学準備金について、今年4月入学児童・生徒分の支給を、3月までに実施または実施予定の市町村の割合が、小学校で4割、中学校で5割に上がった。印南町、御坊市、日高川町、みなべ町で実施また

は実施予定となっている。当町でも実施を。**教育長** 平成27年度までは学期末の支給となっていたが、28年度からは4月の支給とした。管内でも入学前に支給する市町が増えてきている。検討していきたい。

**西岡** 昨年3月の文科省通知では「援助が必要な児童・生徒等の保護者に対し、必要な援助が適切な時期に実施されるよう」となっている。前向きに考えていたただけるというところでよいか。**教育長** 町長部局と協議を重ねながらだが、取り組んでいきたい。

## 国保税、子どもの均等割減免を

40歳から64歳までの人は5万5100円である。家族が多いほど保険料が高くなる仕組みは、子育て世代にとっても大きな負担となり、子育て支援に逆行する制度となっている。子育て支援の町

**西岡** 国民健康保険税には、家族の人数が増えることに保険料を加算していく「均等割」という仕組みがある。29年度の税額は、39歳までと65歳以上の人は年間4万3100円、

づくりを進めてきた町として、子どもの均等割減免制度の創設を。



玉県ふじみ野市では、第3子以降について全額免除、北海道旭川市では、第3子以降を3割減免するというところである。

たとえば、40歳未満の夫婦、夫の前年総所得250万円、固定資産税5万円、妻の所得0で試算すると、子どもがいない時には、年額35万8300円、子どもが4人では47万2100円で、11万3800円高くなる。子どもの内、上の2人が小・中学生と仮定すると、1カ月5万円の児童手当があるが、2カ月余分が国保税に消えてしまう。

**町長** 国保税は、世帯の所得額に応じて軽減措置があり、この措置に対しては国・県からの負担金がある。しかし、子どもの均等割減免制度を創設したとしても、国・県の負担金がなく、そのため財源が必要となる。国保特別会計は原則独立採算であり、他の被保険者の負担が増えることとなる。

また、国保以外の世帯との公平性を欠くこととなり、制度創設は考えていない。

**西岡** 全国で取り組む自治体がでてきている。埼

財源の問題では、これまで、子ども医療費等現物給付に対する国のペナルティ分に対し、一般会計から繰り入れてきた。同じように軽減分を一般会計から繰り入れれば、他の被保険者の負担にはならない。制度の検討を。**町長** 現在のところ考えていない。

他の一般質問  
ノロウイルス集団感染の対応



# 委員会レポート

## 総務福祉常任委員会



ゆらこども園の運営について説明を受けた

### 保育所 民間委託 の調査

委員会は去る2月22日、保育所運営について、ゆらこども園を担当課と共に

に視察した。ゆらこども園では、由良町から教育長、教育課長、担当者。こども園から園長の、計4名で対応いただいた。事前に委員からの質問事項を傳達しており、それについて答弁してもらった。質問事項は指定管理に関すること、



広々とした保育室

園児に関すること、並びに職員に関する事等であった。由良町では指定管理なので当町の考えとは少し変わるかなとの印象を受けた。その後、施設の説明を受けた。委員会室に戻り再度、担当課長に町長の方針を聞いたところ、志賀保育所と比井保育所を統合し新聞報道された通り32年を目的に民間委託（公設

民営）を進めていきたい旨の説明であった。委員からは「民間委託を前提で話しているが委員会としても議会としても、それを良しとしたことではない」と厳しい指摘もあった。委員会としては、まだまだ納得するに至らない点、反対等の意見も踏まえ、保育所運営について時期等を考えながら、引き続き、調査・研究を重ねていきたい。

**全国町村議会議長会より表彰**

清水正巳議長が、議員として15年以上在職しての功績に対して表彰された。



清水 正巳 氏



タブレットで入退園を管理

# 委員会レポート

## 産業教育常任委員会

### 温泉館の 利用状況は

去る2月15日に「温泉館の利用状況について」調査研究を行った。初めに執行部から温泉館の入館者数の説明を受けた。



新設された薪ストーブ 集客アップにつながるのか

平成12年6月に開館し、初年度は10万6021人、次年度も10万7893人と大盛況であったが、3年目で約1割減の9万8021人、10年目では約4割減の6万197人と下降状態である。

また、平成26年度にはレジオネラ菌の発生により入館者数が過去最低の4万2123人まで落ち込み、翌年度は4万8443人にまで回復したが、平成28年度は4万7032人に減少。平成29年度は9月から11月末までのスタンプイベントを行い、特に11月は締め切り前の駆け込み応募で前年同月より入館者数もアップとなったが、年間を通してみると、前年度よりやや減少の見通しとの事である。

温泉館の収支については、平成26年度が約1300万円、平成27年度が約2300万円、平成28年度が約2100万円のいずれもマイナス経営である。

担当課は予算的に削減されている中で集客する案を考えるのは難しい面

もあるが、スタンプイベントは好評だったので、来年度は景品をグレードアップして実施し、集客に繋げたいとの事であった。

委員からは、「一般企業ならこんな状況で放っておかない。」「お荷物の施設にするのではなく、町民から愛される施設に



入館者数が減少傾向の温泉館

なるよう、職員自身が意識を変えなければならぬ」と厳しい意見も出され、家族風呂の予約制や週末のイベント開催、無料バスの運行、また温泉館に特化したスペシャリストの人材育成など、入館者集客アップに向けて更なる努力を執行部に強く要望をした。

### 編集後記

国内外で色んな問題を抱えて明るい話題が少ない中、今年は年明けから嬉しいニュースが続きました。

まず、日高町のくえ鍋が、日本全国鍋グランプリで優勝しました。また、平昌オリンピックでは日本人選手が大活躍しました。

3月に入ると、約100年ぶりに新種の桜が紀南地方で見られ、「クマノザクラ」と命名されました。今までその存在に気づかなかつたのは非常に意外ですが、全ての植物が完全に把握されているわけではなく、毎年新種の植物が発見されているそうです。

今後面白い話題が続くことを願って止みません。

楠山博之

